

想いの届く日に寄せて

歌と共に生きている現在。

そのすべての根っこが
「大分」にあります。

中学1年の春に聞いた合唱が原点です。

歌が音楽室の窓ガラスを震わせていた
あの瞬間から私は、
「音と声」に魅了されました。

音楽の力と
歌う喜びを

教えてくださった先生方、
そして友人たち。

歌う身体を私にくれた両親。

大分のみなさまと、
素晴らしい共演者との音楽を
一緒にできる幸せに感謝して。

2022年 初夏

波多野睦美

波多野 睦美 歌

宮崎生まれ、大分出身。シェイクスピア時代の音楽でデビュー。以来、ソロコンサートを中心に、バッハやヘンデルのオラトリオ、バロックオペラのソリストとして活動を続け、中世から現代まで幅広いジャンルにおいて独自の存在感を放つ。
2005年より銀座 王子ホールにて「歌曲の変容」と題したリサイタルシリーズを続け、今年で15回目を迎える。
様々な時代の歌の魅力伝えるプログラムを構成、演奏している。
「名曲アルバム」「NHK-BSクラシック倶楽部」「題名のない音楽会」他に出演。
CD作品多数。エイベックス、キングからのソロアルバムに加え、自身のレーベルからも6作品を発表。
ギタリスト大萩康司との「コーリングユー」2017、作曲家・ピアニスト高橋悠治との「ねむれない夜」2020を発表。
書籍に、山本容子の銅版画による詩画集「プラチーロとわたし」がある。
最新作は「想いの届く日」2022年7月リリース。



← 波多野睦美
オフィシャルサイト

北村 聡 バンドネオン

関西大学在学中にバンドネオンに出会い、小松亮太に師事、フェノシアイスでJ・パネのレッスンを受ける。
2011 アストル・ピアソラ五重奏団元ピアニスト パプロ・シーグルルのアジアチームに選抜
2014 東京オペラシティリサイタルシリーズ「B→C」
2017 ミカ&リチャード・ストルツマンより招聘、カーネギーホールにて演奏
2020 ウィーン・アコーディオン・フェスティバル出演
2021 バッティストーニ指揮ピアノラ「シンフォニア・フェノシアイス」日本初演参加
鈴木大介、館野泉、夏木マリ、川井郁子、EGO-WRAPPIN'、中島ノブユキ、ディエゴ・スキッ、東京交響楽団と共演。
NHK「青天を衝け」、映画「マスカレード・ナイト」他様々な録音に参加。
喜多直毅クアルテット、クアトロシエントス、三枝伸太郎Orchestra Esperanza、大柴拓カルテットなど数多くの楽団に参加、活動中。

田辺 和弘 コントラバス

クラシック、アルゼンチンタンゴ、即興演奏などの分野で活動するベーシスト。
東京藝術大学在学中にタンゴと出会い、以来、日本はもとより、アルゼンチンのタンゴ界の若手から、ビクトラ・バジェン、オスバルド・ベリンジェリ、ホセ・コランジェロなどタンゴ全盛期の大師所に至るまで、幅広い世代のミュージシャンとも数多く共演している。
故 齊藤敬氏との出会いと共演をきっかけに、様々なジャンルにおける即興的なアプローチを試みている。
喜多直毅クアルテット、ベーストリオThe Bass Collectiveの他、様々なタンゴバンドに継続的に参加。
タンゴ本来のグルーヴを追求しつつ、ジャンルを超えた音楽自体の持つエネルギーを表現するべく、模索、活動している。

曲目

- ガルデル：想いの届く日
首の差で (バンドネオンソロ)
- ブーランク：愛の小径
- ピアソラ：私はマリア
オブリビオン
- グアスタヴィーノ：薔薇と柳
- ラミレス：アルフォンシーナと海
夏のクリスマス
- メンデス：ククルクパロマ
- モリコーネ：ニューシネマパラダイス
- ロジャース：私のお気に入り
- パーセル：ソリチュード
- アーン：クロリスに
- ラカジェ：アマポーラ

主催：想いの届く日 コンサート実行委員会

後援：大分合同新聞社 OBS大分放送 TOSテレビ大分 エフエム大分 J:COM 大分ケーブルテレコム

担当：しょうの (080-6413-3104) Mail: ooitademutsumi@gmail.com

チケット取り扱い店 トキハ会館 エトウ南海堂 カネトウ楽器 ミュージックストア ナガト 平和市民公園能楽堂

チケットぴあ：Pコード 220-711

* 小学生からご入場いただけます。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策へのご協力をお願いします。

← チケット購入予約 (当日・引き換え)

